

琉球大学学術リポジトリ

ルドルフ・シュタイナー全集 第181 巻～第354 巻邦訳の現状

メタデータ	言語: ja 出版者: 琉球大学人文社会学部 公開日: 2023-05-11 キーワード (Ja): シュタイナー, シュタイナー全集, 邦訳リスト キーワード (En): 作成者: 寺石, 悦章 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002019823

ルドルフ・シュタイナー全集 第181巻～第354巻
邦訳の現状

寺石悦章

ルドルフ・シュタイナー全集 第 181 巻～第 354 巻 邦訳の現状

寺 石 悦 章
Yoshiaki TERAISHI

Ein Überblick über die japanische Übersetzung der Rudolf Steiner Gesamtausgabe 181-354

本稿はルドルフ・シュタイナー (Rudolf Steiner, 1861-1925) の著作・講義等を収録した、およそ 350 巻からなるルドルフ・シュタイナー全集 (Rudolf Steiner Gesamtausgabe) の第 181 巻～第 354 巻 (GA1-354) について、邦訳の現状について調査し、その結果を報告するものである。

著名な西洋の思想家であれば、邦訳が全集あるいは著作集といった形で出版されていることが多い。そこでは業績の(ほぼ)全体を視野に収めた翻訳・出版の計画が立てられ、主要な訳語なども統一されている。

しかしシュタイナー関係の邦訳は、このようなこととはほとんど無縁になされており、大半の出版物がそれぞれ単独で出版されている。そのため現在では、およそ 350 巻からなる全集のどの巻とどの巻がすでに翻訳され、どの巻が翻訳されていないのかといったごく基本的な情報すら、把握するのが困難な状況にある。本稿をそのような状況の改善に役立てたいと考えている。

本稿では、筆者が把握した限りでのすべての邦訳について調査を行い、全集から邦訳への対応関係(第何巻のどの文書が、どの本のどの文書で邦訳されているか)を個々に提示する。本稿で報告するのは全集の後半部についてであり、前半部についてはすでに報告済みである。次回は本稿とは逆の、邦訳から全集への対応関係について報告することを予定している。

キーワード： シュタイナー シュタイナー全集 邦訳リスト

はじめに

本稿は、ルドルフ・シュタイナー (Rudolf Steiner, 1861-1925) の著作・講義等を収録した、およそ350巻からなるルドルフ・シュタイナー全集(Rudolf Steiner Gesamtausgabe, 以下「全集」)について、その邦訳の現状について調査し、その結果を報告するものである。報告は2回に分けて行うこととし、このうち前半部(第1巻～第180巻)についてはすでに報告済みである¹。本稿では残る後半部(第181巻～第354巻)について報告を行う。なおルドルフ・シュタイナーという人物、全集の全体像(構成など)、および邦訳の現状把握をめぐる困難な状況などについては、すでに論じているのでここでは繰り返さない²。

本稿では、筆者が把握した限りでのすべての邦訳について全集との対応関係を調査し、全集の第何巻のどの文書が、どの本のどの文書で邦訳されているかを個々に提示する³。

本稿を手がかりに、今後の邦訳および研究がさらに進展することが期待される⁴。

邦訳リストについて

全集は現在も編集が継続されている。これまでに全面的な改訂がなされた結果、すでに邦訳と対応しなくなっている巻もある。ただし本稿は邦訳との対応を示すことを目的としているため、そのような場合には邦訳に対応する(すなわち改訂前の)版で示す。

筆者が把握しているすべての邦訳を対象としているが、本または収録されている文書の全体が多数の講義等からの抜粋により構成され、かつ抜粋され

¹ 寺石 2022. なお訂正と追加を本稿末尾に記載している。

² 寺石 2021.

³ 短い文章が多数収録されているなど、あまりに煩雑になる場合には表記を省略している場合がある。

⁴ 本稿で示しているのは「全集→邦訳」の対応関係だが、続いて「邦訳→全集」の対応関係について報告することを予定している。

た各文章の量が比較的短いものは対象外としている⁵。また通常の書籍と重複する Kindle 版も対象外としている。(ただし Kindle 版としてのみ出版されたものは対象としている。)一方、厳密には全集からの邦訳ではない場合でも、対応関係が明確な場合(全集以外の出版物からの邦訳、英訳からの邦訳など)は対象としている。

全集各巻の表記方法や各項目を表記する順序はかならずしも統一されていないが、原則として各巻の表記に従う。ただし大文字が連続するものは、適宜小文字に改める。

本稿で取り上げる著書・論文・講義等は、ごくわずかな例外を除いてルドルフ・シュタイナーによるものである。したがって著者名は原則として省略し、訳者名のみをあげる。

ドイツ語の場合、講義ごとの個別タイトル(具体的内容を示すもの)を“ ”で示している。ただし連続講義全体のタイトルや、①(後述)等の部分は“ ”には含めない。

日本語の場合、本全体を『 』で、収録されている文書を「 」で示している。ウェブサイトに掲載されている翻訳の場合、全訳(それに近いものを含む)の場合に『 』、個々の講義や章の場合に「 」を用いる。

ウェブサイトに掲載されている翻訳、および Kindle 版の場合、発行年は記載しない。

⁵ 対象外とした書名は次の通り(発行年順)。西川隆範訳『仏陀からキリストへ』水声社、1985;西川隆範編訳『シュタイナー教育小事典』イザラ書房、1992;西川隆範訳『シュタイナー仏教論集』アルテ、2002;西川隆範編訳『シュタイナー教育ハンドブック』風濤社、2007;西川隆範訳『ベーシック・シュタイナー 人智学エッセンス』イザラ書房、2007;西川隆範編訳『シュタイナー 輪廻転生譚』風濤社、2009;西川隆範訳『シュタイナー キリスト論集』アルテ、2010;西川隆範訳『シュタイナーはこう語った』アルテ、2011;高橋巖訳『シュタイナーの言葉』春秋社、2014。

また対象外とした収録文書は次の通り(発行年順)。西川隆範訳『色と形と音の瞑想』風濤社、2001 所収の「肉色・肌色」「ゲーテの色彩論」「虹の色」「色と形の瞑想・オーラの色」「補遺」;西川隆範訳『神仏と人間』風濤社、2010 所収の「仏陀から弥勒へ」;『シュタイナー〈からだの不思議〉を語る』イザラ書房、2010 所収の「補遺 3 物質体・エーテル体・アストラル体」;西川隆範訳『天地の未来』風濤社、2011 所収の「地震の深層」。

行頭の○印は巻の全訳(を含むもの)、行頭の・印は2冊合わせての巻の全訳である。

水声社の社名は1992年までは書肆風の薔薇だが、本稿では水声社で統一する。

「佐藤公俊のホームページ」と「シュタイナー研究室」はウェブサイトである。前者は「佐藤 HP」、後者は「〈S〉研究室」と略記する。

佐藤 HP : <https://web.archive.org/web/20090223154935/>

homepage.mac.com/satokk/index.html

〈S〉研究室 : <https://r5.quicca.com/~steiner/novalisnova/steiner/Steiner.html>

掲載等の都合により、下記の方法で文章の分量を減らしている。

「ルドルフ・シュタイナー」は〈RS〉、「シュタイナー」は〈S〉と略記する。

erster Vortrag (第一講)、zweiter Vortrag (第二講) ……は①、②……と表記する⁶。ただしローマ数字による表記(I, II……)はそのままとする。

ある文書 A の一部が、それに続く文書 B, C の一部と同一の場合、同一の部分 A では下線、B, C では……で示すことがある。文書 A の一部が2つ後の文書 B (さらにその2つ後の文書 C) の一部と同一の場合、同一の部分 A では下線、B, C では…②…で示すことがある。(状況に応じて二重下線を用いて識別を容易にする。)

収録されている文書・講義名は、特定・識別が可能な範囲でできるだけ簡潔に表示する。講義の番号(たとえば erster Vortrag, 本稿では①)のみで講義が特定できる場合は、内容を示すタイトルは示さない⁷。また長いタイトルは一部を省略することがある。原則としてサブタイトルは省略する。

次の書名は略号で(あるいは一部省略して)表記している。

⁶ Vortrag のみの場合も①と表記する。

⁷ ただし複数の連続講義が収録されていて、erster Vortrag (第一講) が2つあるような場合には、それらを識別できるような形で表記する。

『現代神秘学 1』: 『現代神秘学』創刊号、人智学研究会、1976

『現代神秘学 2』: 『現代神秘学』第2号、人智学研究会、1976

『現代神秘学 3』: 『現代神秘学』第3号、人智学研究会、1977

『現代神秘学 4』: 『現代神秘学』第4号、人智学研究会、1978

『人智学研究 4』: 『人智学研究』第1号、人智学出版社、1980

『人智学研究 2』: 『人智学研究』第2号、人智学出版社、1981

『人智学研究 3』: 『人智学研究』第3号、人智学出版社、1982

『〈RS〉研究 1』: 『ルドルフ・シュタイナー研究』第1号、

ルドルフ・シュタイナー研究所、1978

『〈RS〉研究 2』: 『同上』第2号、同上、1978

『〈RS〉研究 3』: 『同上』第3号、同上、1979

『〈RS〉研究 4』: 『同上』第4号、同上、1979

GA181, *Erdensterben und Weltenleben*

③, Berlin, 1918.2.5

西川隆範訳「死者との交流 (2)」

(『精神科学から見た死後の生』風濤社、2000)

GA182, *Der Tod als Lebenswandlung*

“Der Tod als Lebenswandlung,” Nürnberg, 1918.2.10

西川隆範訳「死者と私たち」(……)

高橋巖訳「死者との語り⁸」(『死について』春秋社、2011)

“Zeichen der Zeit. Osten, Westen, Mitteleuropa,” Ulm, 1918.4.30

高橋巖訳「死と出会うための学問⁹」(『死について』春秋社、2011)

⁸ 部分訳。

⁹ 部分訳。

“Was tut der Engel in unserem Astralleib ?,” Zürich, 1918.10.9

松浦賢訳「天使は私たちのアストラル体で何をおこなうか」

(『天使と人間』イザラ書房、1995)

西川隆範訳「補遺 1 天使は人間のアストラル体のなかで何をするのか」

(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

GA184, Die Polarität von Dauer und Entwicklung im Menschenleben

⑤, Dornach, 1918.9.14

内村真澄訳「七年期同士の対応関係」(『シュタイナーの人間発達論①』

NextPublishing Authors Press、2022)

⑭, Dornach, 1918.10.12

松浦賢訳「アーリマンの学院と人類の未来に関する三つの予言」

(『悪の秘儀』イザラ書房、1995)

GA185, Geschichtliche Symptomatologie

○高橋巖訳『歴史徴候学』春秋社、2021

⑤, Dornach, 1918.10.26

高橋巖訳「悪の秘儀¹⁰」(『悪について』春秋社、2012)

GA189, Die soziale Frage als Bewusstseinsfrage

③, Dornach, 1919.2.21

高橋巖訳「近代社会主義の思想形態」(『社会の未来』イザラ書房、1989)

高橋巖訳「社会主義とイデオロギー」(『社会の未来』春秋社、2009)

④, Dornach, 1919.3.1

高橋巖訳「史的唯物論、階級闘争、剰余価値」(……)

¹⁰ 対応関係については省略。

⑧, Dornach, 1919.3.16

高橋巖訳「ヘーゲルとマルクス 霊的社会主義による両者の調和」(……)

GA193, *Der innere Aspekt des sozialen Rätsels*

⑨, Zürich, 1919.10.27

松浦賢訳「ルシファーとアーリマンの受肉について」

(『悪の秘儀』イザラ書房、1995)

GA194, *Die Sendung Michaels*

①, Dornach, 1919.11.13

高橋巖訳「ミカエルの使命 第一講」(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

②, Dornach, 1919.11.22

高橋巖訳「ミカエルの使命 第二講」(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

③, Dornach, 1919.11.23

高橋巖訳「ミカエルの使命 第三講」(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

④, Dornach, 1919.11.28

高橋巖訳「ミカエルの使命 第四講」(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

⑤, Dornach, 1919.11.29

高橋巖訳「ミカエルの使命 第五講」(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

⑥, Dornach, 1919.11.30

高橋巖訳「ミカエルの使命 第六講」(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

⑩, Dornach, 1919.12.13

高橋巖訳「人類進化の表現としての建築様式」

(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

GA201, *Entsprechungen zwischen Mikrokosmos und Makrokosmos*

④, Dornach, 1920.4.16

内村真澄訳「ムーンノード」(『シュタイナーの人間発達論②』

NextPublishing Authors Press、2022)

⑧, Dornach, 1920.4.24

高橋巖訳「空間について¹¹⁾」(『死について』春秋社、2011)

**GA202, *Die Brücke zwischen der Weltgeistigkeit
und dem Physischen des Menschen***

④, Dornach, 1920.4.4

西川隆範訳「ヘーゲルとショーペンハウアー」

(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

GA204, *Perspektiven der Menschheitsentwicklung*

⑬, Dornach, 1921.5.5

西川隆範訳「自我と太陽」(『星と人間』風濤社、2001)

GA205, *Menschenwerden, Weltenseele und Weltengeist – Erster Teil*

⑥, Dornach, 1921.7.2

冥王まさ子訳「有機体のプロセスと魂の生活」

(『魂の隠れた深み』河出書房新社、1995)

GA207, *Anthroposophie als Kosmosophie*

①, Dornach, 1921.9.23

新村梓訳「悪の起源」(『現代神秘学4』)

高橋巖訳「内面への旅¹²⁾」(『内面への旅』筑摩書房、2003)

¹¹⁾ 部分訳。

¹²⁾ 抜粋。

高橋巖訳「破壊のかまど¹³」(『悪について』春秋社、2012)

②, Dornach, 1921.9.24

高橋巖訳「内面への旅¹⁴」(『内面への旅』筑摩書房、2003)

高橋巖訳「破壊のかまど¹⁵」(『悪について』春秋社、2012)

③, Dornach, 1921.9.30

西川隆範訳「神秘学と心理学」(『〈S〉心理学講義』平河出版社、1995)

GA208, Die Gestaltung des Menschen als Ergebnis kosmischer Wirkungen

⑮, Dornach, 1921.10.28

西川隆範訳「黄道十二宮から形成される人間」(『星と人間』風濤社、2001)

⑯, Dornach, 1921.10.29

西川隆範訳「七惑星と人間のいとなみ」(『星と人間』風濤社、2001)

GA209, Nordische und mitteleuropäische Geistimpulse

Die spirituellen Zukunftsaufgaben Norwegens und Schwedens, ②,

Kristiania (Oslo), 1921.11.27

松浦賢訳「人間と天使、および高次のヒエラルキー存在の関係」

(『天使と人間』イザラ書房、1995)

西川隆範訳「補遺 2 天使と人間の関係¹⁶」

(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

GA211, Das Sonnenmysterium und das Mysterium von Tod und Auferstehung

¹³ 抜粋。

¹⁴ 抜粋。

¹⁵ 抜粋。

¹⁶ 抄訳。

London, 1922.4.15, “Erkenntnis des Christus durch Anthroposophie”

西川隆範訳「人智学によるキリスト認識」

(『聖杯の探究』イザラ書房、2006)

London, 1922.4.24, “Die dreifache Sonne und der auferstandene Christus”

西川隆範訳「三重の太陽と復活したキリスト」

(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

GA212, *Menschliches Seelenleben und Geistesstreben*

⑥, 1922.5.26, Dornach

佐藤公俊訳「人間の心臓」(佐藤 HP)

GA218, *Geistige Zusammenhänge in der Gestaltung des menschlichen Organismus*

TEIL I, ①, Stuttgart, 1922.10.9

西川隆範訳「星々を通して生まれてくる人間」(『星と人間』風濤社、2001)

GA219, *Das Verhältnis der Sternenwelt zum Menschen und des Menschen zur Sternenwelt*

⑨, 1922.12.24, Dornach

佐藤公俊訳「人間の本性と四季の神秘」(佐藤 HP)

GA221, *Erdenwissen und Himmelerkenntnis*

Der Nachtmensch und der Tagesmensch, ①, Dornach, 1923.2.3

高橋巖訳「夜の人と昼の人」(『魂について』春秋社、2011)

Dornach, 1923.2.11, “Der unsichtbare Mensch in uns”

石川公子他訳『私たちの中の目に見えない人間』涼風書林、2011

**GA223, *Der Jahreskreislauf als Atmungsvorgang der Erde*
und die vier grossen Festeszeiten**

Der Jahreskreislauf als Atmungsvorgang der Erde

und die vier grossen Festeszeiten, ①, Dornach, 1923.3.31

西川隆範訳「地球のリズム」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

…… ③, Dornach, 1923.4.2

西川隆範訳「四季のなかの人間 (1)」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

…… ④, Dornach, 1923.4.7

西川隆範訳「四季のなかの人間 (2)」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

**GA224, *Die menschliche Seele in ihrem Zusammenhang*
mit göttlich-geistigen Individualitäten**

“Schicksalsgestaltung in Schlafen und Wachen,” Bern, 1923.4.6

松浦賢訳「眠りと目覚めにおける運命の形成／言語の靈性と良心の声」

(『天使と人間』イザラ書房、1995)

西川隆範訳「補遺 3 睡眠中と覚醒時における運命の形成¹⁷」

(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

GA226, *Menschenwesen, Menschenschicksal und Welt-Entwicklung*

①, Kristiaia(Oslo), 1923.5.16

西川隆範訳「死んでから生まれ変わるまで (1)」

(『精神科学から見た死後の生』風濤社、2000)

②, Kristiaia(Oslo), 1923.5.17

西川隆範訳「死んでから生まれ変わるまで (2)」(……)

⑥, Kristiaia(Oslo), 1923.5.21

¹⁷ 抄訳。

高橋巖訳「四季とその祭り」(『〈RS〉による魂のこよみ』イザラ書房、1985)

高橋巖訳「四季とその祭り」(『魂のこよみ』ちくま文庫、2004)

GA228, *Initiationswissenschaft und Sternenerkenntnis*

Die geistigen Individualitäten unseres Planetensystems, ①, Dornach, 1923.7.27

西川隆範訳「運命を規定する星・人間を解放する星」

(『星と人間』風濤社、2001)

GA229, *Das Miterleben des Jahreslaufes in vier kosmischen Imaginationen*

○西川隆範訳「四季の宇宙的イマジネーション」

(『四季の宇宙的イマジネーション』水声社、1988)

GA230, *Der Mensch als Zusammenklang des schaffenden, bildenden und gestaltenden Weltenwortes*

○高橋巖訳『〈S〉宇宙的人間論』春秋社、2005

○yucca 訳『創造し、造形し、形成する宇宙言語の協和音としての人間』

〈S〉研究室

①, Dornach, 1923.10.19

佐藤公俊訳「第一部 第一講」(佐藤 HP)

⑦, Dornach, 1923.11.2

西川隆範訳「妖精たちと自然界」(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

⑧, Dornach, 1923.11.3

西川隆範訳「妖精たちと動物界」(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

⑨, Dornach, 1923.11.4

西川隆範訳「妖精たちの合唱」(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

⑪, Dornach, 1923.11.10

西川隆範訳「体内における食べものの変化」

(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005)

GA232, *Mysteriengestaltungen*

○西川隆範訳『秘儀の歴史』国書刊行会、1996

⑥ - ⑩, Dornach, 1923.12.2-14

西川隆範訳「ギリシャの密儀¹⁸」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

⑩, Dornach, 1923.12.14

西川隆範訳「ギリシア哲学¹⁹」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

⑪, Dornach, 1923.12.15

西川隆範訳「ギリシア哲学²⁰」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

GA233, *Die Weltgeschichte in anthroposophischer Beleuchtung und als Grundlage der Erkenntnis des Menschengeschehens*

○高橋巖訳「人智学から見た世界史Ⅱ」(『歴史を生きる』筑摩書房、2004)

○yucca 訳『人智学の光に照らした世界史』〈S〉研究室

GA233a, *Mysterienstätten des Mittelalters*

Mysterienstätten des Mittelalters, ① - ⑥, Dornach, 1924.1.4-13

西川隆範訳「薔薇十字の秘儀」(『秘儀参入の道』平河出版社、1986)

……, ①, Dornach, 1924.1.4

西川隆範訳「補遺 2 霊的諸存在と虹²¹」

(『色彩の本質・色彩の秘密』イザラ書房、2005)

……, ②, Dornach, 1924.4.20

¹⁸ 抄訳。

¹⁹ 部分訳。

²⁰ 部分訳。

²¹ 抄訳。

内村真澄訳「必然性と自由²²」

(『シュタイナーの人間発達論③』NextPublishing Authors Press、2022)

GA234, Anthroposophie - Eine Zusammenfassung nach einundzwanzig Jahren

○高橋巖訳「人智学 21 年後の総括」

(『シュタイナーの瞑想・修行論』春秋社、2019)

GA235, Esoterische Betrachtungen karmischer Zusammenhänge Band 1

○西川隆範訳『カルマの形成』イザラ書房、1994

GA236, Esoterische Betrachtungen karmischer Zusammenhänge Band 2

Karmische Betrachtungen in bezug auf das geschichtliche Werden

der Menschheit, ① - ⑤, Dornach, 1924.4.6-4.27

西川隆範訳「人類の歴史的生成に関するカルマ的考察」

(『歴史の中のカルマ的関連』イザラ書房、1994)

… des Individuellen menschlichen Lebens, ⑥ - ⑨, Dornach, 1924.5.4-11

西川隆範訳「個々の人生のカルマ的考察」(…)

Karmabildung beim Rückläufigen durchleben des Erdenwandels

unmittelbar nach dem Tode, ⑩ - ⑬, Dornach, 1924.5.16-30

西川隆範訳「死の直後、地上の人生をさかのぼって体験する際の

カルマの形成」(『宇宙のカルマ』イザラ書房、1996)

Die Kosmische Form des Karma und dei Individuelle Betrachtungs

karmischer Zusammenhänge, ⑭ - ⑰, Dornach, 1924.6.4-29

西川隆範訳「カルマの宇宙の形態とカルマ的関連の個人的観察」(…)

²² 翻訳は前半のみ。

GA237, *Esoterische Betrachtungen karmischer Zusammenhänge Band 3*

○浅田豊訳『アントロポゾフィー運動のカルマ的関連』涼風書林、2021

GA238, *Esoterische Betrachtungen karmischer Zusammenhänge Band 4*

○浅田豊訳『アントロポゾフィー運動と現代の靈的生活』涼風書林、2022

GA239, *Esoterische Betrachtungen karmischer Zusammenhänge Band 5*

Esoterische Betrachtungen karmisch-kosmischer Zusammenhänge, ① ,

Prag, 1924.3.29

丹羽敏雄訳「第一講演」

(『カルマ的・宇宙的関連から観た人生』涼風書林、2021)

……, ②, Prag, 1924.3.30

丹羽敏雄訳「第二講演」(……)

……, ③, Prag, 1924.3.31

丹羽敏雄訳「第三講演」(……)

……, ④, Prag, 1924.4.5

丹羽敏雄訳「第四講演」(……)

Anthroposophie als Erkenntnisgrundlage des Geistigen in Welt und Mensch und als

Seelenimpuls für moralisches und religiöses Leben, ① , Paris, 1924.3.23

丹羽敏雄訳「第一講演」

(『カルマ認識と靈的・宗教的人生への衝動』涼風書林、2021)

……, ②, Paris, 1924.3.24

丹羽敏雄訳「第二講演」(……)

……, ③, Paris, 1924.3.25

丹羽敏雄訳「第三講演」(……)

GA240, *Esoterische Betrachtungen karmischer Zusammenhänge Band 6*

Das Karma der Anthroposophischen Gesellschaft, ①, Arnheim, 1924.7.18

西川隆範訳「人智学運動のカルマ (1)」(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

Das Karma der Anthroposophischen Gesellschaft, ②, Arnheim, 1924.7.19

西川隆範訳「人智学運動のカルマ (2)」(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

Das Karma der Anthroposophischen Gesellschaft, ③, Arnheim, 1924.7.20

西川隆範訳「人智学運動のカルマ (3)」(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

Die Vertiefung des Christentums, ①, Torquay, 1924.8.12

丹羽敏雄訳「第1講演」(『ミカエルの太陽諸力によるキリスト教の深化』

涼風書林、2022)

Die Vertiefung des Christentums, ②, Torquay, 1924.8.14

丹羽敏雄訳「第2講演」(……)

Die Vertiefung des Christentums, ③, Torquay, 1924.8.21

丹羽敏雄訳「第3講演」(……)

GA243, *Das Initiaten-Bewusstsein*

○佐々木義之訳『精神的な探求における真実の道と偽りの道』(S)研究室

⑥, Torquay, 1924.8.16

西川隆範訳「人生設計 (2)」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

GA245, *Anweisungen für eine esoterische Schulung*

○佐藤俊夫訳『秘教的修行の指針』22世紀アート、2022

GA254, *Die okkulte Bewegung im neunzehnten Jahrhundert und ihre Beziehung zur Weltkultur*

①, Dornach, 1915.10.10

深澤英隆訳「十九世紀のオカルト運動」(『現代神秘学4』)

②, Dornach, 1915.10.11

深澤英隆訳「十九世紀のオカルト運動」(『現代神秘学4』)

GA257, *Anthroposophische Gemeinschaftsbildung*

○佐々木義之『人智学共同体形成』(S) 研究室

⑥, Stuttgart, 1923.2.27

西川隆範訳「人智学共同体形成 1」(『人智学指導原則』水声社、1992)

西川隆範訳「人間関係を築く (1)」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

高橋巖訳「共同体を人智学的に形成するために 第1講」

(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

⑦, Stuttgart, 1923.2.28

西川隆範訳「人智学共同体形成 2」(『人智学指導原則』水声社、1992)

西川隆範訳「人間関係を築く (2)」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

高橋巖訳「共同体を人智学的に形成するために 第2講」

(『ミカエルの使命』春秋社、2021)

GA260a, *Die Konstitution der Allgemeinen Anthroposophischen Gesellschaft und der Freien Hochschule für Geist*

入間カイ訳「協会員への手紙²³」

(『(S)が協会と自由大学に託したこと』水声社、2014)

GA261, *Unsere Toten*

西川隆範訳『瞑想と祈りの言葉²⁴』イザラ書房、1993

²³ 対応については省略。

²⁴ 対応については省略。

**GA264, Zur Geschichte und aus den Inhalten der ersten Abteilung
der Esoterischen Schule, 1904-1914**

I, Briefe an esoterische Schüler mit Übungen, 1905.12.31

高橋巖訳「死者への祈り²⁵」(『死について』春秋社、2011)

GA266a, Aus den Inhalten der esoterischen Stunden

I, ①, Berlin, 1904.2.8

高橋巖訳「超感覺的認識を独自に得るための諸条件 第1講」

(『〈S〉の瞑想法 秘教講義3』春秋社、2019)

I, ②, Berlin, 1904.2.15

高橋巖訳「…… 第2講」(……)

I, ③, Berlin, 1904.2.21

高橋巖訳「…… 第3講」(……)

I, ④, Berlin, 1904.3.14

高橋巖訳「…… 第4講」(……)

II, “Aufzeichnungen von zwei esoterischen Stunden,” Berlin, 1905.10.4

高橋巖訳「内と外」(『〈S〉の瞑想法 秘教講義3』春秋社、2019)

II, “Aufzeichnungen von zwei esoterischen Stunden,” Berlin, 1905.10.24

高橋巖訳「内なる霊」(『〈S〉の瞑想法 秘教講義3』春秋社、2019)

III, Zur Einführung

高橋巖訳「意志の秘儀のために」(……)

III, Berlin, 1906.10.2

高橋巖訳「呼吸と思考」(……)

III, München, 1907.12.5

高橋巖訳「瞑想の言葉とイメージ」(……)

²⁵ 部分訳。

III, München, 1908.1.16

高橋巖訳「月紀から木星紀へ」(……)

佐々木義之訳「呼吸過程について」シュタイナー研究室

III, München, 1908.11.8

高橋巖訳「妬み、怒りにどう向き合うか アストラル体について」

(…②…) III, Berlin, 1908.11.11

高橋巖訳「補足 A」(『〈S〉の瞑想法 秘教講義 3』春秋社、2019)

III, Berlin, 1908.11.17

高橋巖訳「補足 B」(『〈S〉の瞑想法 秘教講義 3』春秋社、2019)

III, München, 1909.1.7

高橋巖訳「一日数分間の聖なる時 詩を前にして」(……)

III, München, 1909.3.8

高橋巖訳「一日数分間の聖なる時 詩を前にして」(……)

GA267, Seelenübungen I

Erster Teli, “Allgemeine Anforderungen”

高橋巖訳「六つの行」(『〈S〉の瞑想法 秘教講義 3』春秋社、2019)

西川隆範訳「心魂の調和を築く五つの方法」

(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

Erster Teil, “Für die Tage der Woche”

高橋巖訳「眠る前と目覚めた後 その 1²⁶」(…②…)

佐藤公俊訳「週をめぐる毎の訓練」(佐藤 HP)

Zweiter Teil, “4. Übungen mit dem Meditationsspruch”

高橋巖訳「眠る前と目覚めた後 その 2²⁷」(…②…)

Zweiter Teil, “5. Übungen mit dem Meditationsspruch”

²⁶ 部分訳。

²⁷ 部分訳。

高橋巖訳「眠る前と目覚めた後 その3²⁸」(……)

Zweiter Teil, “8. Übungen mit dem Meditationsspruch”

高橋巖訳「朝と夜の主要練習²⁹」「瞑想のための主要練習³⁰」(……)

Dritter Teil, “Erläuterungen zu der Formel «Ich bin - Es denkt - Sie fühlt - Er will»”

高橋巖訳「瞑想のための原則」(……)

Dritter Teil, “Erläuterung zu der Angabe «Versenkung in das eigene göttliche Ideal»”

高橋巖訳「畏敬の感情について」(……)

Dritter Teil, “Über Meditationen mit oder ohne Zeitangaben”

高橋巖訳「瞑想にどう向き合うか」(……)

**GA270, Esoterische Unterweisungen für die erste Klasse der Freien Hochschule
für Geisteswissenschaft**

- ・高橋巖訳『〈RS〉秘教講義 1』春秋社、2018
- ・高橋巖訳『〈RS〉秘教講義 2』春秋社、2018

GA271, Kunst und Kunsterkenntnis

I, “Goethe als Vater einer neuen Ästhetik,” Wien, 1888.11.9

西川隆範訳「新しい美学の父としてのゲーテ」

(『芸術と美学』平河出版社、1987)

高橋巖訳「新しい美学の父ゲーテ」(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

II, “Das Wesen der Künste,” Berlin, 1909.10.28

西川隆範訳「芸術の本質」(…●…)

高橋巖訳「それぞれの芸術の本質」(…●…)

II, Das Sinnlich-Übersinnliche in seiner Verwirklichung durch die Kunst,

²⁸ 部分訳。

²⁹ 部分訳。

³⁰ 部分訳。

München, ①, 1918.2.15

高橋巖訳「感覺的 = 超感覺的なものと芸術によるその表現 第一講」(……)

II, …… , München, ②, 1918.2.17

高橋巖訳「…… 第二講」(……)

II, Die Quellen der künstlerischen Phantasie und die Quellen der

übersinnlichen Erkenntnis, München, ①, 1918.5.5

西川隆範訳「芸術的ファンタジーの源泉と超感的認識の源泉 1」

(『芸術と美学』平河出版社、1987)

高橋巖訳「芸術的想像力の源泉と超感覺的認識の源泉」(…②…)

II, …… , München, ②, 1918.5.6

西川隆範訳「…②… 2」(『芸術と美学』平河出版社、1987)

II. “Der übersinnliche Ursprung des Künstlerischen,” Dornach, 1920.9.12

高橋巖訳「音楽について³¹⁾」(『死について』春秋社、2011)

II, “Die Psychologie der Künste,” Dornach, 1921.4.9

西川隆範訳「芸術の心理学」(『芸術と美学』平河出版社、1987)

高橋巖訳「芸術心理学」(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

GA275, *Kunst im Lichte der Mysterienweisheit*

①, Dornach, 1914.12.28

西川隆範訳「現代文明と美的生活」(『〈S〉の美しい生活』風濤社、2005)

②, Dornach, 1914.12.29

西川隆範訳「人類の芸術的発展のための変容衝動 1」

(『芸術と美学』平河出版社、1987)

西川隆範訳「建築・彫刻・絵画・音楽³²⁾」

(『音楽の本質と人間の音体験』イザラ書房、1993)

³¹⁾ 部分訳。

³²⁾ 抄訳。

③, Dornach, 1914.12.30

西川隆範訳「人類の芸術的発展のための変容衝動2」(…②…)

西川隆範訳「建築・彫刻・絵画・音楽³³」(…②…)

⑤, Dornach, 1915.1.1

高橋巖訳「色と音の世界を道徳的に体験する」

(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

⑥, Dornach, 1915.1.2

西川隆範訳「建物の意味」(『S』の美しい生活』風濤社、2005)

GA276, *Das Künstlerische in seiner Weltmission*

Der Genius der Sprache, ②, Dornach, 1923.6.1

西川隆範訳「建物と衣服」(『S』の美しい生活』風濤社、2005)

Der Genius der Sprache, ④, Dornach, 1923.6.3

西川隆範訳「古典主義とロマン主義」(…)

Der Genius der Sprache, ⑤, Dornach, 1923.6.8

西川隆範訳「詩の起源」(『S』の美しい生活』風濤社、2005)

Anthroposophie und Kunst, ①, Kristiania (Oslo), 1923.5.18

西川隆範訳「人智学と芸術1」(『芸術と美学』平河出版社、1987)

西川隆範訳「S」の色彩論³⁴」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

Anthroposophie und Kunst, ②, Kristiania (Oslo), 1923.5.20

西川隆範訳「人智学と芸術2」(『芸術と美学』平河出版社、1987)

西川隆範訳「S」の色彩論³⁵」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

GA277, *Eurythmie*

³³ 抄訳。

³⁴ 部分訳。

³⁵ 部分訳。

- I, “Das Prinzip der Eurythmie, und wie sie entstanden ist,” Wien, 1918.6.2
高橋巖監修³⁶「オイリュトミーの原理と発生」
(『オイリュトミー』泰流社、1986)
- II, “Die pädagogisch-hygienische Bedeutung der Eurythmie,” Dornach, 1920.3.21
高橋巖訳「モットー³⁷」(『オイリュトミー芸術』イザラ書房、1981)
高橋巖訳「モットー³⁸」
(『オイリュトミー芸術〔改訂版〕』イザラ書房、1988)
- II, “Eurythmie - Tanz – Mimik,” Stuttgart, 1923.3.28
高橋巖訳「オイリュトミー・ダンス・ミミック」(……)
- II, “Gebärde in Pantomime,” Dornach, 1923.4.14
高橋巖訳「パントマイムの振りとオイリュトミーの振り」(……)
- II, “Der Ursprung der Sprachfähigkeit und die Gebärdensprache
der Eurythmie,” Dornach, 1923.7.1
高橋巖監修³⁹「オイリュトミーにおける三つの側面」
(『オイリュトミー』泰流社、1986)
- III, “Die Überwindung der Schwerkraft durch die Eurythmie,” Dornach, 1923.7.8
高橋巖訳「オイリュトミーにおける重力の克服」(…**2**…)
- III, “Eurythmie, die Sprache des ganzen Menschen,” Dornach, 1923.12.30
高橋巖訳「オイリュトミー——人体が語る言語」(……)
- III, “Pädagogische Eurythmie,” Bern, 1924.4.14
高橋巖訳「教育オイリュトミー」(……)
- IV, “Über die neue Rezitationskunst,” Dornach, 1919.3.30, 4.5
佐藤公俊訳「オイリュトミー公演に先立ち」(佐藤 HP)

³⁶ 訳者は記載なし。高橋巖は本全体の監修。

³⁷ 部分訳。

³⁸ 部分訳。

³⁹ 訳者は記載なし。高橋巖は本全体の監修。

GA277a, Die Entstehung und Entwicklung der Eurythmie

“Autoreferat der Einleitungen zu Eurythmie-Vorstellungen,”

Ilkley, 1923.8.14; Penmaenmawr 8.26-27, ; London 9.4

高橋巖監修⁴⁰「オイリュトミー講演に際して」

(『オイリュトミー』泰流社、1986)

GA278, Eurythmie als sichtbarer Gesang

○松山由紀訳『見える歌としてのオイリュトミー』涼風書林、2009

GA279, Eurythmie als sichtbare Sprache

“Über die eurythmische Kunst,” Dornach, 1922.8.4

高橋巖訳「オイリュトミー芸術について」

(『オイリュトミー芸術』イザラ書房、1981)

高橋巖訳「……」(『オイリュトミー芸術〔改訂版〕』イザラ書房、1988)

高橋巖訳⁴¹「……」(『オイリュトミー』泰流社、1986)

“Eurythmie, was sie ist und wie sie entstanden ist Penmaenmawr,”

Penmaenmawr , 1923.8.26

新田義之訳「オイリュトミー その本質と成立の事情」(『〈RS〉研究 2』)

高橋巖訳「オイリュトミーの本質と起源」

(『オイリュトミー芸術』イザラ書房、1981)

高橋巖訳「……」(『オイリュトミー芸術〔改訂版〕』イザラ書房、1988)

GA 283, Das Wesen des Musikalischen und das Tonerlebnis im Menschen

Das Wesen des Musikalischen, ①, Köln, 1906.12.3

高橋巖訳「音楽的なものの本質」

⁴⁰ 訳者は記載なし。高橋巖は本全体の監修。

⁴¹ 訳者の記載はないが、高橋巖訳と推測される。

(『血はまったく特製のジュースだ』イザラ書房、1983)

高橋巖訳「音楽的なものの本質」(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

Das Wesen des Musikalischen, ②, Berlin, 1906.11.12

西川隆範訳「音楽の本質 (1)」

(『音楽の本質と人間の音体験』イザラ書房、1993)

Das Wesen des Musikalischen, ③, Berlin, 1906.11.26

西川隆範訳「音楽の本質 (2)」(……)

Das Wesen des Musikalischen, ④, Leipzig, 1906.11.10

西川隆範訳「音楽の本質」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

Fragenbeantwortungen und Schlussworte,

erste Fragenbeantwortung, Dornach, 1920.9.29

西川隆範訳「楽音体系の拡張 (1)」(…②…)

……, zweite Fragenbeantwortung, Dornach, 1920.9.30

西川隆範訳「楽音体系の拡張 (2)」(……)

……, erstes Schlusswort, Dornach, 1920.12.20

西川隆範訳「音響効果について」(……)

……, zweites Schlusswort, Dornach, 1921.2.7

西川隆範訳「月琴伝説」(……)

Des Menschen Äusserung durch Ton und Wort, ①, Dornach, 1922.12.2

西川隆範訳「音と言葉をとおしての人間表明」(……)

高橋巖訳「音と言葉の由来⁴²」(『内面への旅』筑摩書房、2003)

Das Tonerlebnis im Menschen, ①, Stuttgart, 1923.3.7

西川隆範訳「人間の音体験——音楽教育の基礎 (1)」(…②…)

Das Tonerlebnis im Menschen, ②, Stuttgart, 1923.3.8

西川隆範訳「人間の音体験——音楽教育の基礎 (2)」(……)

⁴² 抄訳。

Das Tonerlebnis im Menschen, ③, Dornach, 1923.3.16

西川隆範訳「靈的諸存在の世界と音の世界」(……)

西川隆範訳「人間の音体験⁴³」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

GA 286, *Wege zu einem neuen Baustil*

Wege zu einem neuen Baustil, ①, Dornach, 1914.6.7

上松佑二訳「アカンサスの葉」(『新しい建築様式への道』相模書房、1977)

Wege zu einem neuen Baustil, ②, Dornach, 1914.6.17

上松佑二訳「言葉の家」(『新しい建築様式への道』相模書房、1977)

Wege zu einem neuen Baustil,, ③, Dornach, 1914.6.28

上松佑二訳「新しい建築思想」(『新しい建築様式への道』相模書房、1977)

Wege zu einem neuen Baustil, ④, Dornach, 1914.7.5

上松佑二訳「真の美的形式法則」(……)

Wege zu einem neuen Baustil, ⑤, Dornach, 1914.7.26

上松佑二訳「色彩の創造的世界」(……)

西川隆範訳「補遺 1 色彩の創造的世界⁴⁴」

(『色彩の本質・色彩の秘密』イザラ書房、2005)

GA 291, *Das Wesen der Farben*

I, ①, Dornach, 1921.5.6

西川隆範訳「色彩体験—四つの像の色」(……)

高橋巖訳「色彩体験と四つの像の色」(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

I, ②, Dornach, 1921.5.7

西川隆範訳「色彩の像と輝きの本質」(…②…)

高橋巖訳「色彩の像と輝き」(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

⁴³ 抄訳。

⁴⁴ 抄訳。訳者あとがきに「第四講」とあるが、「第五講」の誤り。

I, ③, Dornach, 1921.5.8

西川隆範訳「色彩と物質—色から描く」(…②…)

高橋巖訳「色彩と物質」(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

II, “Das moralische Erleben der Farben- und Tonwelt als Vorbereitung

zum künstlerischen Schaffen,” Dornach, 1915.1.1

西川隆範訳「色彩世界と音響世界の体験」(…②…)

西川隆範訳「音をとおしての霊的体験」

(『音楽の本質と人間の音体験』イザラ書房、1993)

II, “Licht und Finsternis als zwei Welt-Entitäten,” Dornach, 1920.12.5

西川隆範訳「光と闇」(『色彩の本質・色彩の秘密』イザラ書房、2005)

II, “Das Leben im Licht und in der Schwere,” Dornach, 1920.12.10

西川隆範訳「光のなかの生命と重さのなかの生命」(…)

II, “Die zwei Grundgesetze der Farbenlehre in Morgen- und Abendröte

und in der Himmelsbläue,” Dornach, 1923.2.21

西川隆範訳「色彩と健康」(…)

II, “Von der Raumperspektive zur Farbenperspektive,” Dornach, 1923.6.2

西川隆範訳「空間遠近法から色彩遠近法へ」(…)

高橋巖訳「…」(『芸術の贈りもの』筑摩書房、2004)

II, “Geist und Ungeist in der Malerei – Tizians «Himmelfahrt Maria»,”

Dornach, 1923.6.9

西川隆範訳「絵画における精神的なものと精神的でないもの」(…)

II, “Maß, Zahl und Gewicht,” Dornach, 1923.7.29

西川隆範訳「重さのない色彩」(…)

GA 292, Kunstgeschichte als Abbild innerer geistiger Impulse

○ yucca 訳『内的霊的衝動の写しとしての美術史』(S) 研究室

GA 293, *Allgemeine Menschenkunde als Grundlage der Pädagogik*

- 新田義之訳『教育の基礎となる一般人間学』人智学出版社、1980
- 高橋巖訳『教育の基礎としての一般人間学』創林社、1985
- 高橋巖訳『教育の基礎としての一般人間学』筑摩書房、1989
- 新田義之訳『教育の基礎としての一般人間学』イザラ書房、2003
- 鈴木一博訳『普遍人間学』榛書房、2013
- 森章吾訳『一般人間学』Kindle

GA 294, *Erziehungskunst. Methodisch-Didaktisches*

- 坂野雄二・落合幸子訳『教育術』みすず書房、1986
- 高橋巖訳『教育芸術 1 方法論と教授法』筑摩書房、1989

GA 295, *Erziehungskunst. Seminarbesprechungen und Lehrplanvorträge*

- 高橋巖訳『教育芸術 2 カリキュラムと演習』筑摩書房、1989
- Erste Seminarbesprechung - Dritte Seminarbesprechung, Stuttgart, 1919.8.21-23
鈴木そよ子訳「演習とカリキュラム」(『人智学研究 3』)

GA 296, *Die Erziehungsfrage als soziale Frage*

- 今井重孝訳『社会問題としての教育問題』イザラ書房、2017

GA 298, *Rudolf Steiner in der Waldorfschule*

- 1919.12.21, Stuttgart, “Ansprache bei der Weihnachtsfeier”
松浦賢訳「クリスマスのお祝いに臨んで」
(『<S>先生、こどもに語る』イザラ書房、1996)
- 1920.6.10, Stuttgart, “Ansprache bei einer Monatsfeier”
松浦賢訳「月例祭に臨んで」(……)
- 1920.7.24, Stuttgart, “Ansprache bei der Feier zum Abschluß des ersten Schuljahres”

松浦賢訳「開校一年目の終業式に臨んで」(……)

1921.6.11, Stuttgart, “Ansprache bei der Feier des zweiten Schuljahres”

松浦賢訳「開校二年目の終業式に臨んで」(……)

1921.6.18, Stuttgart, “…… der Feier zum Biginn des dritten Schuljahres”

松浦賢訳「開校三年目の始業式に臨んで」(……)

1922.6.20, Stuttgart, “…… der Feier zum Biginn des vierten Schuljahres”

松浦賢訳「開校四年目の始業式に臨んで」(……)

1923.3.1, …… , “…… einer Monatsfeier nach dem Brande des Goetheanum”

松浦賢訳「ゲーテアヌム消失後の月例祭に臨んで」(……)

1923.4.24, Stuttgart, “…… der Feier zum Biginn des funften Schuljahres”

松浦賢訳「開校五年目の始業式に臨んで」(……)

1923.5.3, Stuttgart, “Ansprache bei einer Monatsfeier”

松浦賢訳「月例祭に臨んで」(……)

1924.3.27, Stuttgart, “Ansprache bei einer Monatsfeier”

松浦賢訳「月例祭に臨んで」(……)

1924.4.30, Stuttgart, “…… der Feier zum Biginn des sechsten Schuljahres”

松浦賢訳「開校六年目の始業式に臨んで」(……)

**GA 301, Die Erneuerung der pädagogisch-didaktischen Kunst
durch Geisteswissenschaft**

⑤ , Basel, 1920.4.26

西川隆範訳「カリキュラム」(『精神科学による教育の改新』アルテ、2005)

⑥ , Basel, 1920.4.28

西川隆範訳「オイリュトミー・音楽・図画・語学」(……)

⑦ , Basel, 1920.4.29

西川隆範訳「教員養成の問題」(……)

⑧ , Basel, 1920.5.3

西川隆範訳「九歳から十二歳までの動物学と植物学」(……)

⑨, Basel, 1920.5.4

西川隆範訳「方言と書き言葉」(……)

⑩, Basel, 1920.5.5

西川隆範訳「人間存在および教育における総合と分析」(……)

⑪, Basel, 1920.5.6

西川隆範訳「教育におけるリズムの要素」(……)

⑫, Basel, 1920.5.7

西川隆範訳「歴史と地理」(『精神科学による教育の改新』アルテ、2005)

⑬, Basel, 1920.5.10

西川隆範訳「子どもの遊び」(……)

GA 302, *Menschenkenntnis und Unterrichtsgestaltung*

○高橋巖訳『十四歳からの〈S〉教育』筑摩書房、1997

GA 302a, *Erziehung und Unterricht aus Menschenkenntnis*

Meditativ erarbeitete Menschenkunde, ①, Stuttgart, 1920.9.15

鈴木一博訳「シュトゥットガルト 1920年9月15日」

(『メディテーションをもつてものにする人間学』、榛書房、2009)

Meditativ erarbeitete Menschenkunde, ②, Stuttgart, 1920.9.16

鈴木一博訳「シュトゥットガルト 1920年9月16日」(……)

Meditativ erarbeitete Menschenkunde, ③, Stuttgart, 1920.9.21

鈴木一博訳「シュトゥットガルト 1920年9月21日」(……)

Meditativ erarbeitete Menschenkunde, ④, Stuttgart, 1920.9.22

鈴木一博訳「シュトゥットガルト 1920年9月22日」(……)

Erziehungsfragen im Reifealte, ①, Stuttgart, 1922.6.21

西川隆範訳「成熟期の教育問題」(『教育の方法』アルテ、2004)

Erziehungsfragen im Reifealte, ②, Stuttgart, 1922.6.22

西川隆範訳「授業の芸術的形成」(『教育の方法』アルテ、2004)

GA 303, Die gesunde Entwicklung des Menschenwesens

②, Dornach, 1921.12.24

西川隆範訳「教育の基礎としての人間認識⁴⁵」

(『子どもの健全な成長』アルテ、2004)

③, Dornach, 1921.12.25

西川隆範訳「教育の基礎としての人間認識⁴⁶」(……)

④, Dornach, 1921.12.26

西川隆範訳「教育の基礎としての人間認識⁴⁷」(……)

⑤, Dornach, 1921.12.27

西川隆範訳「教育に必要な医学知識⁴⁸」(……)

⑥, Dornach, 1921.12.28

西川隆範訳「教育に必要な医学知識⁴⁹」(……)

⑦, Dornach, 1921.12.29

西川隆範訳「七歳以前の子ども」(『子どもの健全な成長』アルテ、2004)

⑧, Dornach, 1921.12.30

西川隆範訳「〈S〉学校の構成」(『教育の方法』アルテ、2004)

⑨, Dornach, 1921.12.31

西川隆範訳「七歳から一〇歳までの教育」(……**2**……)

⑩, Dornach, 1922.1.1

西川隆範訳「一〇歳の子どもの教育」(……)

⁴⁵ 全集ではなく、ノートに基づく原稿からの訳出。したがって厳密には GA303 からの翻訳ではない。

⁴⁶ 同上。

⁴⁷ 同上。

⁴⁸ 同上。

⁴⁹ 同上。

⑪, Dornach, 1922.1.2

西川隆範訳「一〇歳から一四歳までの教育 1」(……)

⑫, Dornach, 1922.1.3

西川隆範訳「一〇歳から一四歳までの教育 2」(……)

⑬, Dornach, 1922.1.4

西川隆範訳「一四歳以降の教育」(……)

⑭, Dornach, 1922.1.5

西川隆範訳「美術・体育・道徳⁵⁰」(……)

⑮, Dornach, 1922.1.6

西川隆範訳「身体⁵¹の健康」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

西川隆範訳「美術・体育・道徳⁵²」(…**②**…)

⑯, Dornach, 1922.1.7

西川隆範訳「道徳教育 (2)⁵³」(…**②**…)

西川隆範訳「美術・体育・道徳⁵⁴」(…**②**…)

GA 305, Die geistig-seelischen Grundkräfte der Erziehungskunst

○新田義之訳『オックスフォード教育講座』人智学出版社、1981

○新田義之訳『オックスフォード教育講座』イザラ書房、2002

①, Oxford, 1922.8.16

新田義之訳「教育の根底を支える精神的・心意的な諸力 I」(『〈RS〉研究 1』)

②, Oxford, 1922.8.17

新田義之訳「…… I」(『〈RS〉研究 1』)

⁵⁰ 同上。

⁵¹ 同上。

⁵² 同上。

⁵³ 同上。

⁵⁴ 同上。

③, Oxford, 1922.8.18

新田義之訳「…… I」(『〈RS〉研究 1』)

④, Oxford, 1922.8.19

新田義之訳「…… II」(『〈RS〉研究 2』)

Sondervortrag, Oxford, 1922.8.20

新田義之訳「…… II」(『〈RS〉研究 2』)

⑤, Oxford, 1922.8.21

新田義之訳「…… II」(『〈RS〉研究 2』)

⑥, Oxford, 1922.8.22

新田義之訳「…… III」(『〈RS〉研究 3』)

⑦, Oxford, 1922.8.23

新田義之訳「…… III」(『〈RS〉研究 3』)

⑧, Oxford, 1922.8.24

新田義之訳「…… IV」(『〈RS〉研究 4』)

⑨, Oxford, 1922.8.25

新田義之訳「…… IV」(『〈RS〉研究 4』)

西川隆範訳「社会秩序のなかの人間」(『社会改革案』水声社、2011)

**GA 306, Die pädagogische Praxis vom Gesichtspunkte geisteswissenschaftlicher
Menschenerkenntnis**

○西川隆範訳『〈S〉教育の実践』イザラ書房、1994

GA 307, Gegenwärtiges Geistesleben und Erziehung

○佐々木正昭訳『現代の教育はどうあるべきか』人智学出版社、1985

GA 308, Die Methodik des Lehrens und die Lebensbedingungen des Erziehens

①, Stuttgart, 1924.4.8

西川隆範訳「大人の気質は子どもにどう作用するか」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

西川隆範訳「本当の人間認識を土台とする教育」

(『教育の方法』アルテ、2004)

②, Stuttgart, 1924.4.9

西川隆範訳「教育方法と教育の必須条件」(……)

③, Stuttgart 1924.4.10, vormittags

西川隆範訳「彫塑・音楽・言語による人間の本質の理解」(……)

④, Stuttgart, 1924.4.10, abends

西川隆範訳「芸術的な授業」(『教育の方法』アルテ、2004)

⑤, Stuttgart, 1924.4.11

西川隆範訳「道徳教育」(『教育の方法』アルテ、2004)

西川隆範訳「道徳教育(1)」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

GA 311, Die Kunst des Erziehens

aus dem Erfassen der Menschenwesenheit

○西川隆範訳『人間理解からの教育』筑摩書房、1996

○西川隆範訳『人間理解からの教育』ちくま学芸文庫、2013

GA312, Geisteswissenschaft und Medizin

○ yucca 訳『精神科学と医学』(S) 研究室

GA313, Geisteswissenschaftliche Gesichtspunkte zur Therapie

①, Dornach, 1921.4.11

yucca 訳「第1講」(『治療のための精神科学的観点』(S) 研究室)

**GA314, *Physiologisch-Therapeutisches
auf Grundlage der Geisteswissenschaft***

○佐藤俊夫『霊学に基づく生理学と治療学』ルネッサンス・アイ、2019
II, ②, Stuttgart, 1922.10.27⁵⁵

西川隆範訳「神経 - 感覚系 | リズム系 | 四肢 - 代謝系 (2)」

『〈S〉〈からだの不思議〉を語る』イザラ書房、2010)

GA 315, *Heileurythmie*

○石川公子・中谷三恵子・金子由美子訳『オイリュトミー療法講義』

涼風書林、2014

**GA 316, *Meditative Betrachtungen und Anleitungen
zur Vertiefung der Heilkunst***

○佐藤俊夫『医療を深めるための瞑想的考察と指導』

ルネッサンス・アイ、2017

Weihnachtskurs ①, 1924.1.2, Dornach

佐藤俊俊訳「若い医者への講義 第一講」(佐藤 HP)

Weihnachtskurs ②, 1924.1.3, Dornach

佐藤俊俊訳「若い医者への講義 第二講」(佐藤 HP)

Weihnachtskurs ③, 1924.1.4, Dornach

佐藤俊俊訳「若い医者への講義 第三講」(佐藤 HP)

Weihnachtskurs ④, 1924.1.5, Dornach

佐藤俊俊訳「若い医者への講義 第四講」(佐藤 HP)

GA 317, *Heilpädagogischer Kurs*

⁵⁵ 1912 とあるのは 1922 の誤り。

○高橋巖訳『治療教育講義』筑摩書房、2005

GA 318, *Das Zusammenwirken von Ärzten und Seelsorgern*

○佐藤俊夫『牧会医学講座 医師と牧会者の共働』ルネッサンス・アイ、2014

④, Dornach, 1924.9.11

内村真澄訳「28/29 歳のゼロポイント」(『シュタイナーの人間発達論②』

NextPublishing Authors Press、2022)

GA 319, *Anthroposophische Menschenerkenntnis und Medizin*

○佐藤俊夫『アントロポゾフィーの人間認識と医学』……、2015

①, Penmaenmawr (England), 1923.8.28

西川隆範訳「人体と病気の過程」(『病気と治療』イザラ書房、1992)

⑦, Arnheim, 1924.7.17

中村正明訳「第一講」

(『医学は霊学から何を得ることができるか』水声社、2006)

⑧, Arnheim, 1924.7.21

中村正明訳「第二講」(……)

西川隆範訳「神経 - 感覚系 | リズム系 | 四肢 - 代謝系 (1)」

(『<S> <からだの不思議>を語る』イザラ書房、2010)

⑨, Arnheim, 1924.7.24

中村正明訳「第三講」(…②…)

⑩, London, 1924.8.28

西川隆範訳「補遺 2 癌について⁵⁶」(…②…)

西川隆範訳「精神科学の観点からの治療術 (1)」

(『病気と治療』イザラ書房、1992)

⁵⁶ 抄訳。

⑪, London, 1924.8.29

西川隆範訳「補遺 2 癌について⁵⁷」(…②…)

西川隆範訳「精神科学の観点からの治療術 (2)」(…②…)

GA324a, Die vierte Dimension

○ KAZE・佐々木義之訳『四次元』〈S〉研究室

GA327, Geisteswissenschaftliche Grundlagen zum Gedeihen der Landwirtschaft

○新田義之他訳『農業講座』人智学出版社、1987

○新田義之他訳『農業講座』イザラ書房、2000

○森章吾訳『農業講座』Kindle

Zur Einführung, Dornach, 1924.6.20

新田義之訳「農業発展のための精神科学的根底 I」(『〈RS〉研究 3』)

①, Koberwitz, 1924.6.7

新田義之訳「農業発展のための精神科学的根底 I」(『〈RS〉研究 3』)

②, Koberwitz, 1924.6.10

新田義之訳「農業発展のための精神科学的根底 II」(『〈RS〉研究 4』)

③, Koberwitz, 1924.6.11

新田義之訳「農業発展のための精神科学的根底 II」(『〈RS〉研究 4』)

GA328, Die soziale Frage

①, Zürich, 1919.2.3

西川隆範訳「社会改革案の真相」(『社会改革案』水声社、2011)

西川隆範訳「補遺・楽しく働ける社会⁵⁸」

(『職業のカルマと未来』風濤社、2008)

⁵⁷ 抄訳。

⁵⁸ 抄訳。

②, Zürich, 1919.2.5

西川隆範訳「現実に沿った社会改革案の解決」(…②…)

西川隆範訳「補遺・楽しく働ける社会⁵⁹」(…②…)

③, Zürich, 1919.2.10

西川隆範訳「社会生活の現実的な把握」(…②…)

西川隆範訳「補遺・楽しく働ける社会⁶⁰」(…②…)

④, Zürich, 1919.2.12

西川隆範訳「社会の発展と現代人の生活状況」(…②…)

西川隆範訳「補遺・楽しく働ける社会⁶¹」(…②…)

GA332a, Soziale Zukunft

○高橋巖訳『社会の未来』イザラ書房、1989

○高橋巖訳『社会の未来』春秋社、2009

Fragenbeantwortung nach dem ersten Vortrag, Zürich, 1919.10.24

西川隆範訳「I 社会問答 第1問答」(『〈S〉世直し問答』風濤社、2009)

Fragenbeantwortung nach dem zweiten Vortrag, Zürich, 1919.10.25

西川隆範訳「I 社会問答 第2問答」(…)

Fragenbeantwortung nach dem dritten Vortrag, Zürich, 1919.10.26

西川隆範訳「I 社会問答 第3問答」(…)

Fragenbeantwortung nach dem vierten Vortrag, Zürich, 1919.10.28

西川隆範訳「I 社会問答 第4問答」(…)

Fragenbeantwortung nach dem m fünften Vortrag, Zürich, 1919.10.29

西川隆範訳「I 社会問答 第5問答」(…)

Fragenbeantwortung nach dem sechsten Vortrag, Zürich, 1919.10.30

⁵⁹ 抄訳。

⁶⁰ 抄訳。

⁶¹ 抄訳。

西川隆範訳「Ⅰ 社会問答 第6問答」(……)

GA340, *Nationalökonomischer Kurs*

- 西川隆範訳『〈S〉経済学講義』筑摩書房、1998
- 西川隆範訳『〈S〉経済学講義』ちくま学芸文庫、2010

GA341, *Nationalökonomisches Seminar*

- 西川隆範訳「Ⅱ 経済セミナー」(『〈S〉世直し問答』風濤社、2009)

GA347, *Die Erkenntnis des Menschenwesens nach Leib, Seele und Geist. Über frühe Erdzustände*

①, 1922.8.2

西川隆範訳「言葉の発生」(『〈S〉の美しい生活』風濤社、2005)

②, Dornach, 1922.8.5

西川隆範訳「脳の話」(『〈S〉〈からだの不思議〉を語る』イザラ書房、2010)

③, Dornach, 1922.8.9

西川隆範訳「構築と崩壊」(……)

④, Dornach, 1922.9.9

西川隆範訳「肝臓の働き」(……)

⑤, Dornach, 1922.9.13

西川隆範訳「腎臓の働き」(……)

⑥, Dornach, 1922.9.16

西川隆範訳「栄養摂取の過程」(……)

⑦, Dornach, 1922.9.20

西川隆範訳「レムリア時代 (1)」(『〈S〉地球年代記』風濤社、2009)

⑧, Dornach, 1922.9.23

西川隆範訳「レムリア時代 (2)」(『〈S〉地球年代記』風濤社、2009)

⑨, Dornach, 1922.9.27

西川隆範訳「最古の時代」(『S』地球年代記』風濤社、2009)

⑩, Dornach 1922.9.30

西川隆範訳「アダム・カドモン」(『S』地球年代記』風濤社、2009)

GA348, *Über Gesundheit und Krankheit*

○熊坂春樹『健康と病気について』ホメオパシー出版、2004

②, Dornach, 1922.10.24

西川隆範訳「子どもの病気」(『人智学から見た家庭の医学』風濤社、2003)

④, Dornach, 1922.12.2

西川隆範訳「若返りの泉」(……)

⑤, Dornach, 1922.12.13

西川隆範訳「目の話⁶²」(『人智学から見た家庭の医学』風濤社、2003)

⑧, Dornach, 1922.12.23

西川隆範訳「呼吸の不思議」(……)

⑨, Dornach, 1922.12.27

西川隆範訳「病気の原因」(『病気と治療』イザラ書房、1992)

⑩, Dornach, 1922.12.30

西川隆範訳「妊娠中の注意」(…②…)

⑫, Dornach, 1923.1.8

西川隆範訳「酒とタバコ (1)」(『健康と食事』イザラ書房、1992)

⑭, Dornach, 1923.1.13

西川隆範訳「酒とタバコ (2)」(『健康と食事』イザラ書房、1992)

⑱, Dornach, 1923.2.10

西川隆範訳「星と金属と医療」(『星と人間』風濤社、2001)

⁶² 部分訳。

GA349, *Vom Leben des Menschen und der Erde*

①, Dornach, 1923.2.17

西川隆範訳「地球の生命と人間の自然治癒力」

(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

③, Dornach 1923.3.3

西川隆範訳「人種の色」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

⑪, Dornach, 1923.4.21

西川隆範訳「二人のイエス」(『神仏と人間』風濤社、2010)

⑫, Dornach, 1923.5.7

松浦賢訳「人間との関係におけるキリスト、アーリマン、

ルシファーの本質」(『悪の秘儀』イザラ書房、1995)

西川隆範訳「キリストと悪魔」(『神仏と人間』風濤社、2010)

⑬, Dornach, 1923.5.9

西川隆範訳「キリストの死と復活と昇天」(『神仏と人間』風濤社、2010)

GA350, *Rhythmen im Kosmos und im Menschenwesen*

①, Dornach, 1923.5.30

西川隆範訳「体操・踊り・スポーツ」

(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

②, Dornach, 1923.6.2

西川隆範訳「地震・火山と人間⁶³」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

西川隆範訳「目の話⁶⁴」(『人智学から見た家庭の医学』風濤社、2003)

③, Dornach, 1923.6.6

西川隆範訳「心臓を動かす力」(……)

⁶³ 部分訳。

⁶⁴ 部分訳。

西川隆範訳「補遺 1 心臓の話⁶⁵」

(『〈S〉〈からだの不思議〉を語る』イザラ書房、2010)

⑦, Dornach, 1923.6.25

西川隆範訳「地震・火山と人間⁶⁶」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

⑪, Dornach, 1923.7.18

西川隆範訳「蛋白質・脂肪・炭水化物・塩 (1)」

(『健康と食事』イザラ書房、1992)

西川隆範訳「栄養学⁶⁷」(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005)

⑫, Dornach, 1923.7.20

西川隆範訳「宇宙と人体のリズム」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

⑭, Dornach, 1923.7.28

西川隆範訳「血圧について・呼吸について」

(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

西川隆範訳「補遺 1 心臓の話⁶⁸」

(『〈S〉〈からだの不思議〉を語る』イザラ書房、2010)

⑮, Dornach, 1923.9.10

西川隆範訳「儀式」(『神仏と人間』風濤社、2010)

⑯, Dornach, 1923.9.22

西川隆範訳「蛋白質・脂肪・炭水化物・塩 (2)」

(『健康と食事』イザラ書房、1992)

西川隆範訳「栄養学⁶⁹」(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005)

GA351, *Mensch und Welt*

⁶⁵ 部分訳。

⁶⁶ 部分訳。

⁶⁷ 部分訳。

⁶⁸ 部分訳。

⁶⁹ 部分訳。

- ①, Dornach, 1923.10.8
西川隆範訳「自然の不思議 (1)⁷⁰」(『〈S〉の美しい生活』風濤社、2005)
- ③, Dornach, 1923.10.13
西川隆範訳「北の人間と南の人間」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)
- ⑦, Dornach, 1923.10.31
西川隆範訳「自然の不思議 (2)」(…②…)
- ⑩, Dornach, 1923.12.1
西川隆範訳「蜂蜜とミルク⁷¹」(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005)
- ⑪, Dornach, 1923.12.5
西川隆範訳「蜂蜜とミルク⁷²」(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005)

GA352, *Natur und Mensch in geisteswissenschaftlicher Betrachtung*

- ③, Dornach, 1924.1.23
西川隆範訳「栄養とは何か」(『人智学から見た家庭の医学』風濤社、2003)
- ④, Dornach, 1924.2.2
西川隆範訳「目の話⁷³」(『人智学から見た家庭の医学』風濤社、2003)
- ⑤, Dornach, 1923.2.9
西川隆範訳「水の流れと宇宙」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)
- ⑥, Dornach, 1923.2.13
西川隆範訳「なぜ服を着るのか」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)
- ⑧, Dornach, 1923.2.20
西川隆範訳「人間の不思議」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)
- ⑨, Dornach G, 1923.2.23
西川隆範訳「人体の構築と崩壊」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

⁷⁰ 「編訳者あとがき」には 1923.10.10 の講義とあるが、1923.10.8 の誤り。

⁷¹ 「編訳者あとがき」には 1923.11.26 と 1923.12.5 の講義とあるが、前者は 1923.12.1 の誤り。
⁷² 部分訳。

⁷³ 部分訳。

**GA353, Die Geschichte der Menschheit
und die Weltanschauungen der Kulturvölker**

- ①, Dornach, 1924.3.1
西川隆範訳「墓地の話⁷⁴」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)
西川隆範訳「インドーエジプトーバビロニア」
(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)
- ②, Dornach, 1924.3.5
西川隆範訳「ギリシア」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)
- ⑥, Dornach, 1924.3.19
西川隆範訳「イスラム教」(『神仏と人間』風濤社、2010)
- ⑩, Dornach, 1924.5.5
西川隆範訳「天体が地表に与える影響」(『星と人間』風濤社、2001)
- ⑪, Dornach, 1924.5.8
西川隆範訳「ユダヤ教」(『神仏と人間』風濤社、2010)
- ⑫, Dornach, 1924.5.10
西川隆範訳「セフィロトの木」(『神仏と人間』風濤社、2010)
- ⑬, Dornach, 1924.5.14
西川隆範訳「カント」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)
- ⑰, Dornach, 1924.6.25
西川隆範訳「墓地の話⁷⁵」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

GA354, Die Schöpfung der Welt und des Menschen

- ①, Dornach, 1924.6.30
西川隆範訳「宇宙の創造」(『〈S〉地球年代記』風濤社、2009)
- ②, Dornach, 1924.7.3

⁷⁴ 部分訳。

⁷⁵ 部分訳。

西川隆範訳「地球と人間の発生」(……)

④, Dornach, 1924.7.9

西川隆範訳「原始人とアトランティス人」(……)

⑤, Dornach, 1924.7.12

西川隆範訳「インド人・中国人・日本人」(……)

⑥, Dornach, 1924.7.31

西川隆範訳「根・葉・実 (1)」(『健康と食事』イザラ書房、1992)

西川隆範訳「栄養学⁷⁶」(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005)

⑦, Dornach, 1924.8.2

西川隆範訳「根・葉・実 (2)」(『健康と食事』イザラ書房、1992)

⑧, 1924.8.6

西川隆範訳「人類文化の歩み」(『〈S〉地球年代記』風濤社、2009)

⑩, Dornach, 1924.9.9

西川隆範訳「石の色・植物の色・花の香り」

(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

⑪, Dornach, 1924.9.13

西川隆範訳「天気を予知する」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

⑫, Dornach, Dornach, 1924.9.18

西川隆範訳「地球の形と人体」(『自然と人間の生活』風濤社、2004)

【第1巻～第180巻邦訳リスト⁷⁷の訂正】

GA9 森章吾訳『テオゾフィー』→『神智学』

GA40 高橋巖訳『〈RS〉による魂のこよみ』筑摩書房→イザラ書房

GA143 「心を元気にする七つの方法」→「心を元気にする七つの方法」

GA143 Die drei Wege der Seele zu Christus, Erster Vonrag

⁷⁶ 部分訳。

⁷⁷ 寺石 2021.

→ Die drei Wege der Seele zu Christus, ①

【第1巻～第180巻邦訳リスト⁷⁸の追加】

*「佐藤公俊のホームページ」は「佐藤 HP」と略記する。

<https://web.archive.org/web/20090223154935/homepage.mac.com/satokk/index.html>

GA6, *Goethes Weltanschauung*

○森章吾訳『ゲーテの世界観』イザラ書房、2023

GA58, *Metamorphosen des Seelenlebens (I)*

V, München, 1910.3.14⁷⁹

内村真澄訳「人間の構成要素の発達」

(『シュタイナーの人間発達論③』NextPublishing Authors Press、2022)

GA61, *Menschengeschichte im Lichte der Geistesforschung*

III, Berlin, 1911.11.9

内村真澄訳「人生の七年周期と土星」

(『シュタイナーの人間発達論①』NextPublishing Authors Press、2022)

GA92, *Die okkulten Wahrheiten alter Mythen und Sagen*

II, ①, Köln, 1905.12.3

佐藤公俊訳「ローエングリンとパルジファル」(佐藤 HP)

GA101, *Mythen und Sagen*

III, ①, Stuttgart, 1907.9.13

⁷⁸ 寺石 2021.

⁷⁹ 1909年3月14日、ベルリンの講義とあるのは誤り。

佐藤公俊訳「オカルトの記号と象徴 第一講義」(佐藤 HP)

Ⅲ , ② , Stuttgart, 1907.9.14

佐藤公俊訳「オカルトの記号と象徴 第二講義」(佐藤 HP)

Ⅲ , ③ , Stuttgart, 1907.9.15

佐藤公俊訳「オカルトの記号と象徴 第三講義」(佐藤 HP)

Ⅲ , ④ , Stuttgart, 1907.9.16

佐藤公俊訳「オカルトの記号と象徴 第四講義」(佐藤 HP)

GA109, *Das Prinzip der spirituellen Ökonomie im Zusammenhang*

mit Wiederverkörperungsfragen

Ⅱ , ① , Budapest, 1909.6.3

佐藤公俊訳「薔薇十字の秘教」(佐藤 HP)

Ⅱ , ② , Budapest, 1909.6.4

佐藤公俊訳「私たちの外の世界にある魂」(佐藤 HP)

Ⅱ , ③ , Budapest, 1909.6.5

佐藤公俊訳「人間の性質と存在」(佐藤 HP)

Ⅱ , ④ , Budapest, 1909.6.6

佐藤公俊訳「死と再生の間の人間」(佐藤 HP)

Ⅱ , ⑤ , Budapest, 1909.6.7

佐藤公俊訳「靈的諸力と存在たちの表出としての物質界」(佐藤 HP)

Ⅱ , ⑥ , Budapest, 1909.6.8

佐藤公俊訳「人間の物質体の形成と変態」(佐藤 HP)

Ⅱ , ⑦ , Budapest, 1909.6.9

佐藤公俊訳「レムリア期以前の地球の進化段階」(佐藤 HP)

Ⅱ , ⑧ , Budapest, 1909.6.10

佐藤公俊訳「地球進化の諸段階」(佐藤 HP)

Ⅱ , ⑨ , Budapest, 1909.6.11

佐藤公俊訳「人間の死後の経験」(佐藤 HP)

II, ⑩, Budapest, 1909.6.12

佐藤公俊訳「カルマ、再受肉、秘儀参入」(佐藤 HP)

GA127, *Die Mission der neuen Geistesoffenbarung*

“Die Geburt des Sonnengeistes als Erdengeist,” Hannover, 1911.12.26

佐藤公俊訳「十三聖夜」(佐藤 HP)

GA130, *Das esoterische Christentum und die geistige Führung der Menschheit*

“Die Ätherisation des Blutes. Das Eingreifen des ätherischen Christus

in die Erdenentwicklung,” Basel, 1911.10.1

佐藤公俊訳「血のエーテル化」(佐藤 HP)

GA140, *Okkulte Untersuchungen über das Leben zwischen Tod und neuer Geburt*

Das Leben zwischen dem Tode und einer neuen Geburt, ①, München, 1912.11.26

内村真澄訳「死と再生の間のプロセス」

(『死後の星めぐり』NextPublishing Authors Press, 2022)

“Vom Durchgang des Menschen nach dem Tode durch die Sphären des Kosmos,”

München, 1913.3.12

内村真澄訳「死と再生の間のプロセス 死後の宇宙領域の旅」

(『死後の星めぐり』NextPublishing Authors Press, 2022)

GA152, *Vorstufen zum Mysterium von Golgatha*

“Die vier Christus-Opfer,” Basel, 1914.6.1

佐藤公俊訳「キリストの4つの犠牲」(佐藤 HP)

GA159, *Das Geheimnis des Todes*

“Gemeinsamkeit über uns, Christus in uns,” Düsseldorf, 1915.6.15

佐藤公俊訳「第 6 文化期を準備する」(佐藤 HP)

GA176, *Menschliche und menschheitliche Entwicklungswahrheiten*

①, Berlin, 1917.5.29

内村真澄訳「人類の意識の進化と 27 歳」(『シュタイナーの人間発達論②』

NextPublishing Authors Press、2022)

参考文献

寺石悦章 2021 「ルドルフ・シュタイナー全集 邦訳の現状」

(『人間科学』第 41 号所収、pp.61-91)

寺石悦章 2022 「ルドルフ・シュタイナー全集 第 1 巻～第 180 巻

邦訳の現状」(『人間科学』第 42 号所収、pp.71-117)

